

利根川治水記功碑除幕式

櫻花爛漫たる四月十五日千葉縣佐原町で工事に意義ある催があつた。

それは利根川治水記功碑の除幕式である、東京からは内務大臣代理や、其他名士參列し利根川改修工事直接の關係者としては東京土木出張所長の中川吉造博士を初め、前の關係者が多數參列した。

除幕式は佐原町商工会の主催であるが、以上の外に地方官民多數の參列があり、現工事主任内務技師阿部清紀氏の工事報告其他來賓の祝辭があつた。

利根川改修工事は明治三十三年度より昭和四年度に至る三十箇年の繼續事業にして、總工費六千三百四十萬三千餘圓を以て、群馬縣佐波郡芝根村以下千葉縣海上郡銚子町海口に至る本川延長二百軒、及び派川江戸川並に中川の改修を施行するものである。詳細は碑誌を再讀せられ度い。

碑誌は中川吉造博士の文になるもので下記の通りである、技術家が大河に向つて吐く豪壯の氣宇を、漢文體其儘にして掲ぐる事にする。(列席の一記者)



(1) 利根川治水工事を記念する碑(千葉縣佐原町) 碑石は宮城縣の産、高23尺(縣道路面上の高46尺)、巾8尺、厚1.5尺、建設費5,650圓

(1) A Memorial stone built to memorize efforts exerted to construct The Tone River which had been flooding districts around. The stone is measured by 23 Shaku in height and 8 Shaku in width.

利根川治水記功碑

内閣總理大臣兼内務大臣

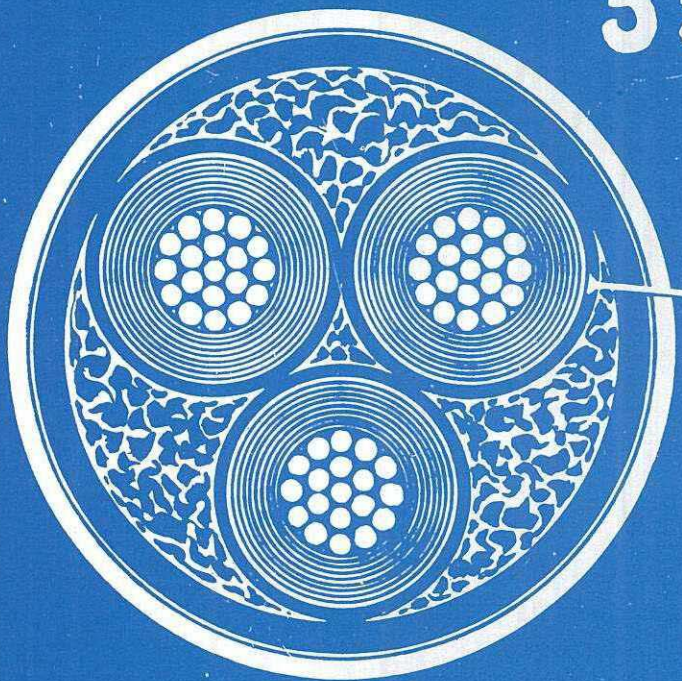
從三位 勳一等 若槻禮次郎題額

海内河川之_ナ大者_{ナル}、世必先_{ラズ}届_ブ于_テ利根川_ニ、而_{カモ}治水之_ノ難_キトハ、與_ニ土工之_ノ大_{ナル}、亦推_{シテ}利根_ニ爲_スレ_テ首_ト、是以_テ功_ノ之_ノ竣_{ハル}モ、亦晚_シ矣、所謂_ル大器_ノ晚成_{ナル}者_ハ、是之_ヲ謂_フ歟、夫利根_ノ之所_レ流_ル、在_リ關東_ニ平野_ノ廣袤_ノ百里_ノ之間_ニ、濼_ノ河_ノ紆_レ餘_シ、郊_ノ村_ノ水_ノ鄉_ノ被_レ其_ノ澤_ニ、土地_ノ豐_カ、民_ノ口_ノ稠_ク、以_テ天_ノ府_ノ寶_ノ庫_ニ見_レ推_サ、川_ノ亦_テ以_テ阪_ノ東_ノ太_ノ郎_ノ見_レ稱_セ、川_ノ也_ハ發_シ源_ニ乎_ニ上_ニ毛_ノ大_ノ水_ノ上_ニ山_ニ、集_メ赤_ノ谷_ノ、薄_ノ根_ノ、片_ノ品_ノ、諸_ノ水_ノ併_ニ吾_ノ妻_ノ鳥_ノ二_ノ川_ニ、抵_リ栗_ノ橋_ニ、渡_リ良_ノ瀨_ノ川_ノ合_シ流_シ焉_、權_ノ現_ノ堂_ノ川_ノ分_シ水_ニ焉_、抵_リ關_ノ宿_ニ、更_ニ有_リ逆_ノ川_ノ之_ノ分_シ派_ニ、所_レ分_ル兩_ノ支_ノ川_、會_シ成_ニ江_ノ戶_ノ川_ニ、南_ノ流_ス十五_ノ里_、注_シ東京_ノ灣_ニ、幹_ノ川_ノ則_チ東_ノ流_シ併_ニ鬼_ノ怒_ノ、小_ノ具_ノ二_ノ川_ニ納_リ、印_ノ磨_ノ沼_、霞_ノ浦_、北_ノ浦_ノ之_ノ瀦_ノ水_、抵_リ銚_ノ子_ニ、注_シ太平_ノ洋_ニ、其_ノ流_ノ域_ハ互_ニ于_ニ上_ノ野_ノ、下_ノ野_ノ常_ノ陸_、武_ノ藏_、下_ノ總_ノ五_ノ國_ニ、其_ノ面_ノ積_ハ一_ノ千_ノ二_ノ十_ノ方_ノ里_、

H型超特高壓電纜

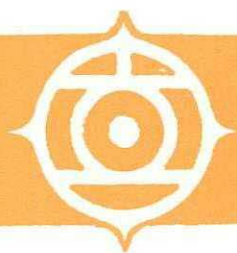
66,000V.

33,000V.



???

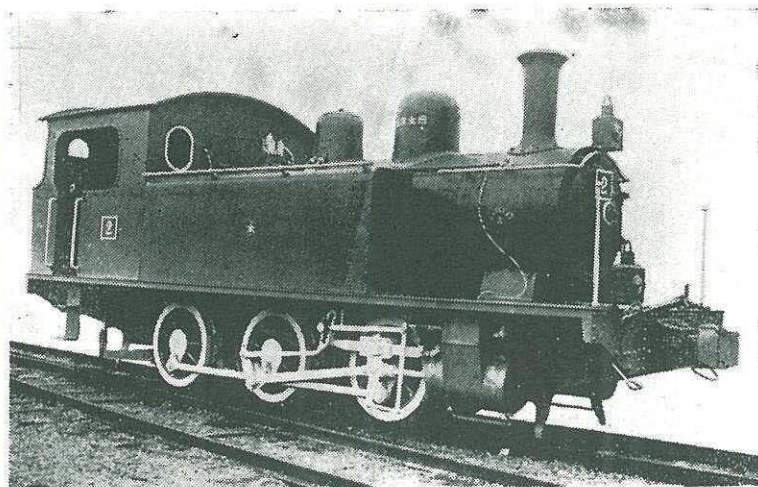
古河電氣工業株式會社



日立製作所

東京丸の内仲通十五號館

日立蒸汽機關車と電氣機關車



蒸汽機關車

- 容量(噸).....27
- 軌間.....3'~6'
- 汽筒徑及衝程.....13'×19'
- 動輪徑.....3'~2'
- 固定輪軸距離.....10'~0'
- 常用汽壓...180封度/平方吋
- 水槽容積.....900ガロン
- 最大長巾高.....
- 28'~7 $\frac{1}{4}$ '×8'~7 $\frac{1}{4}$ '×
- 11'~6 $\frac{3}{4}$ '

電氣機關車

- 容量(噸).....20
- 軌間.....762耗
- 定格速度.....10.65哩/時
- 牽引力(封度).....8448
- 電動機馬力數(馬力).....
-60×4
- 電壓.....600ヴォルト
- 車輪徑.....914耗
- 固定輪軸距離.....1900耗
- 總輪軸距離.....6440耗
- 最大長巾高(耗).....
-8840×2350×3680

